

(3) シモフリアイゴ(勝連)

① 体長測定

勝連漁場市場に水揚げされたシモフリアイゴについて体長を測定した。

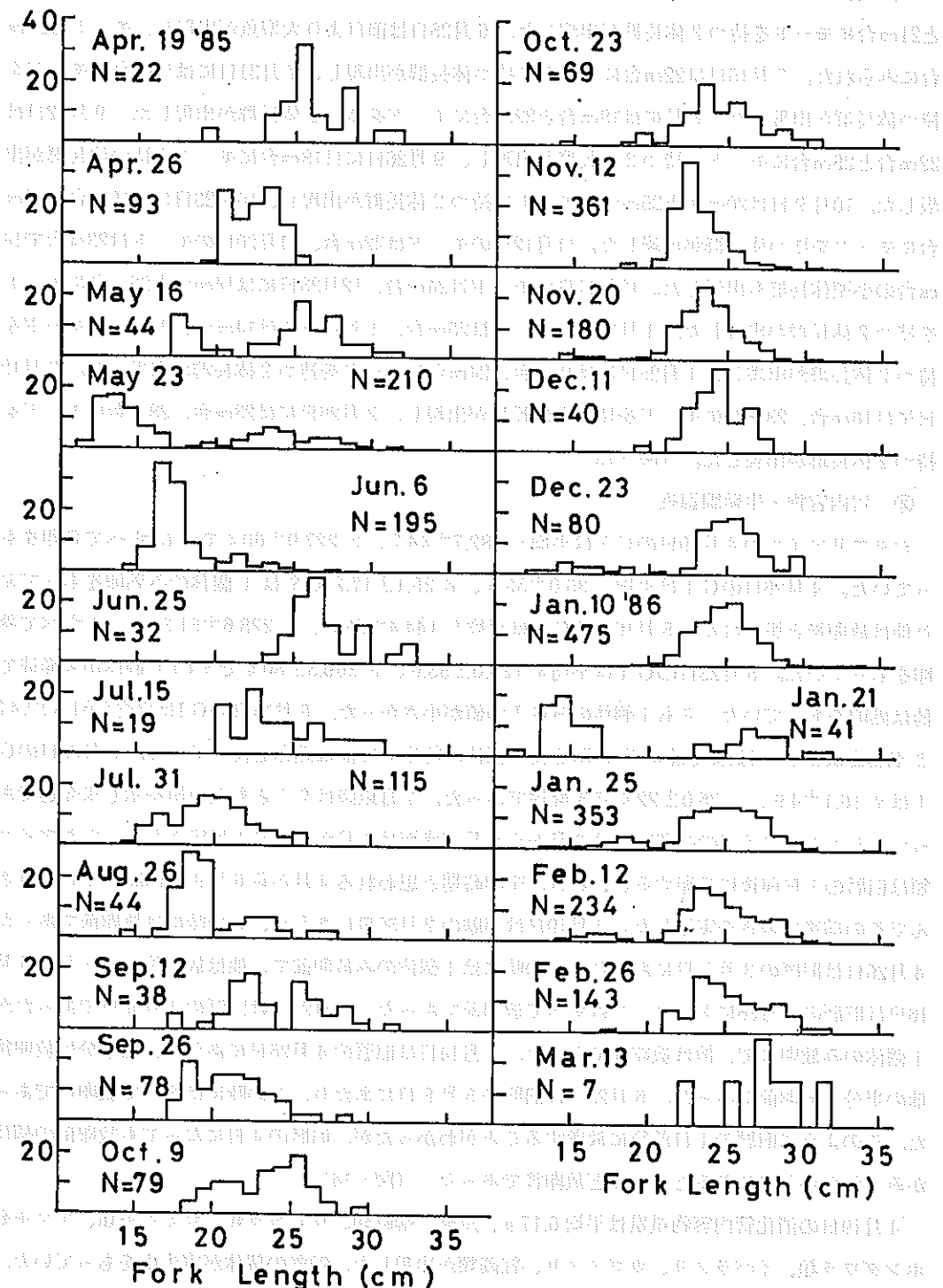


図-13 シモフリアイゴ月別体長組成

4月19日のモードは25cm台にみられ、4月26日には24cm台にモードを持つ体長群が出現した。5月16日には17cm台と26cm台にモードを持つ2体長群が出現した。5月23日は体長範囲が広く11-32cmの体長範囲で13cm台、23cm台、26cm台にモードを持つ3体長群が出現した。6月6日には16cm台と21cm台にモードを持つ2体長群が出現した。6月25日は前日より大型魚が出現し、モードは27cm台にみられた。7月15日は22cm台にモードを持つ体長群が出現し、7月31日には19cm台にモードを持つ体長群が出現した。8月には18cm台と22cm台にモードを持つ2体長群が出現した。9月12日は22cm台と25cm台にモードを持つ2体長群が出現し、9月26日には18cm台にモードを持つ体長群が出現した。10月9日は20cm台と25cm台にモードを持つ2体長群が出現し、10月23日には19cm台、23cm台にモードを持つ体長群が出現した。11月12日のモードは22cm台、11月20日のモードは23cm台で14cm台の小型体長群も出現した。12月11日のモードは24cm台、12月23日には14cm台と25cm台にモードを持つ2体長群が出現した。1月10日のモードは25cm台、1月21日には14cm台、26cm台にモードを持つ2体長群が出現し、1月25日には18cm台、24cm台にモードを持つ2体長群が出現した。2月12日には16cm台、23cm台にモードを持つ2体長群が出現し、2月26日には23cm台、28cm台にモードを持つ2体長群が出現した。(図-13)

② 胃内容物・生殖腺調査

シモフリアイゴの4月19日のG Iは平均♀ 182.7 ± 44.7 、♂ 227.9 ± 60.4 で♀はすべて熟卵をもっていた。4月26日のG Iは平均♀ 36.0 ± 53.5 、♂ 35.1 ± 17.2 で♀は1個体のみ熟卵をもっており他は放卵後と思われた。5月16日のG Iは平均♀ 144.4 ± 23.6 、♂ 228.6 ± 51.3 で♀はすべて熟卵をもっていた。5月23日のG Iは平均♀ 128.0 ± 53.0 、♂ 269.3 ± 80.4 で♀の1個体が未発達で他は熟卵をもっていた。♂も1個体のみG Iの値が小さかった。6月14日のG Iは平均♀ 61.6 ± 64.3 、♂ 47.3 ± 80.3 、♀は未発達の生殖腺を持つ個体が約半分で他は熟卵をもっていた。6月25日のG Iは♀ 16.1 ± 4.9 、♂ 26.0 ± 22.4 で未発達であった。7月以降は♀♂とも低い値を示し未発達であった。シモフリアイゴの産卵時期は3月から6月で盛期は4月から5月と推定された。なおアイゴ類は旧暦の1日前後に産卵すると言われ、産卵時期と思われる4月から6月まで旧暦の1日をはさんでその前後に調査を実施した。4月19日は旧暦の2月30日にあたり、この時には放卵前であった。4月26日は旧暦の3月7日にあたり、この時には1個体のみ放卵前で、他は放卵後であった。5月16日は旧暦の3月26日にあたり、♀はすべて放卵前であった。5月23日は旧暦の4月4日であったが1個体のみ放卵後で、他は放卵前であった。6月14日は旧暦の4月26日にあたり、約半分は放卵後、他の半分は放卵前であった。6月25日は旧暦の5月8日にあたり、この時にはすべて放卵後であった。このように旧暦の1日前後に放卵することがわかったが、旧暦の4日になっても放卵前の個体がみられたが7日になるとほとんど放卵後であった。(図-14)

4月19日の消化管内容物重量は平均6.17g、魚卵、端脚類、ワレカラ類、ウミグモ類、アマモ類、ホンダワラ類、イバラノリ、カゴメノリ、紅藻類が出現した。90%の個体が寄生虫をもっていた。4月26日は平均4.30g、サルバ類、端脚類、ワレカラ類、軟体類、アマモ類、緑藻類、紅藻類が出

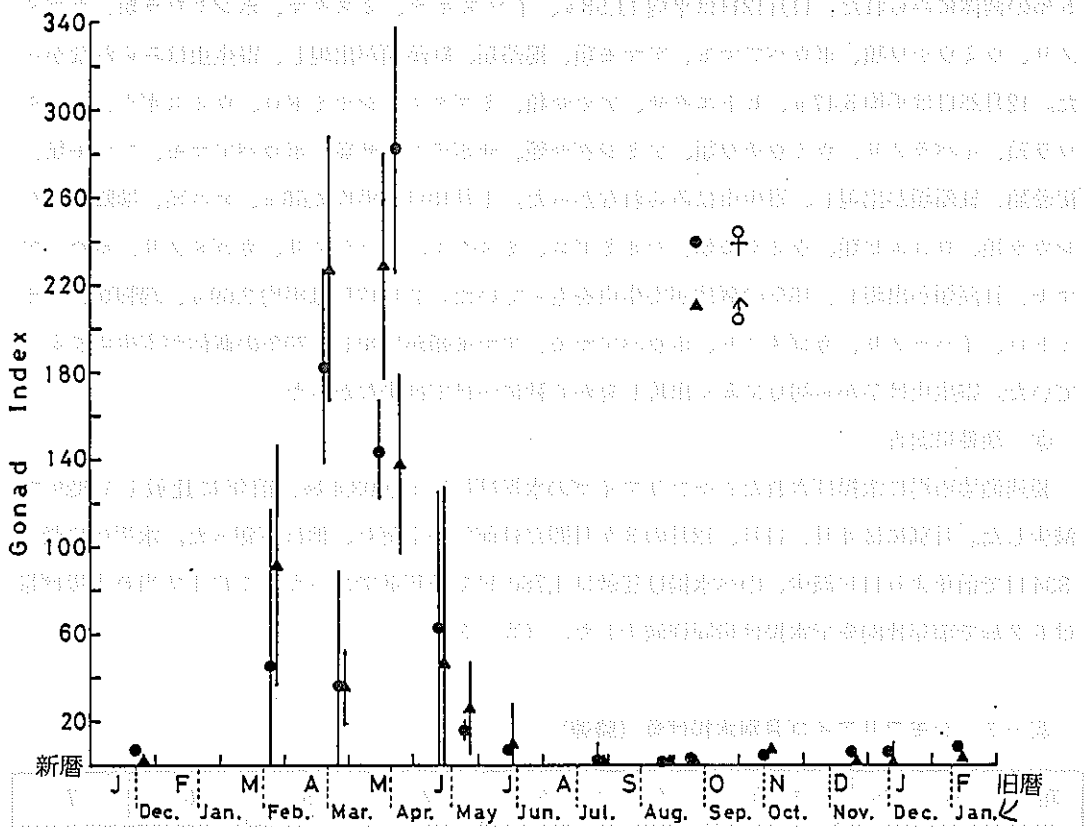


図-14 シモフリアイゴ生殖腺熟度指数月変化 (新暦、旧暦)

現し100%寄生虫をもっていた。5月16日は平均8.21g、タツノオトシゴ類、魚卵、サルパ類、端脚類、ワレカラ類、ウミスギナ、ヒトエグサ、ホンダワラ類、イバラノリ、カゴメノリ、アミジグサ類、アマモ類が出現した。90%の個体が寄生虫をもっていた。5月23日は平均1.54g、魚卵、カニ類、ホンダワラ類、カゴメノリが出現し、80%の個体が寄生虫をもっていた。6月14日は平均4.90g、コケムシ類、端脚類、ワレカラ類、ヒトエグサ、シオミドロ、ホンダワラ類、イバラノリ、カゴメノリ、ウミウチワ類、アマモ類、褐藻類、紅藻類が出現し、30%の個体が寄生虫をもっていた。6月25日は平均10.87g、魚卵、端脚類、ホンダワラ類、カゴメノリ、ウミウチワ類、紅藻類が出現し、75%の個体が寄生虫をもっていた。7月15日は平均9.86g、端脚類、ワレカラ類、軟体類、コケムシ類、イソスギナ、ホンダワラ類、ウミウチワ類、カゴメノリ、イバラノリ、アマモ類、褐藻類、紅藻類が出現し、60%の個体が寄生虫をもっていた。8月26日は平均5.21g、カニ類、ミズタマ、ホンダワラ類、ウミウチワ類、紅藻類が出現し、寄生虫はみられなかった。9月26日は平均2.01g、ミズタマ、イバラノリ、ウミウチワ類、アミジグサ類、ボウバアマモ、アマモ類、褐藻類、紅藻類が出現し、寄生虫はみられなかった。10月9日は平均3.42g、イソスギナ、ホンダワラ

類、イバラノリ、カゴメノリ、ウミウチワ類、ボウバアマモ、褐藻類、紅藻類が出現し、寄生虫は5%の個体にみられた。11月12日は平均11.58g、イソスギナ、ミズタマ、ホンダワラ類、カゴメノリ、ウミウチワ類、ボウバアマモ、アマモ類、褐藻類、紅藻類が出現し、寄生虫はみられなかった。12月23日は平均5.47g、ヒトエグサ、アオサ類、ミズタマ、シオミドロ、ウミスギナ、ホンダワラ類、イバラノリ、ウミウチワ類、アミジグサ類、サボテングサ類、ボウバアマモ、アマモ類、褐藻類、紅藻類が出現し、寄生虫はみられなかった。1月10日は平均4.56g、カニ類、端脚類、ワレカラ類、ヨコエビ類、ウミグモ類、シオミドロ、ミズタマ、イバラノリ、カゴメノリ、ボウバアマモ、紅藻類が出現し、15%の個体が寄生虫をもっていた。2月12日は平均3.69g、端脚類、シオミドロ、イバラノリ、カゴメノリ、ボウバアマモ、アマモ類が出現し、70%の個体が寄生虫をもっていた。寄生虫は冬から初夏に多く出現し夏から秋にかけては少なかった。

③ 漁獲量調査

勝連漁協市場に水揚げされたシモフリアイゴの水揚げ量は11,003.4kg、前年に比較して82%で減少した。月別には4月、11月、12月の3ヶ月間だけ前年を上廻り、他は下廻った。水揚げ日数は334日で前年より11日減少、のべ水揚げ隻数は1,780日で前年並であった。1日1隻当り水揚げ量は6.2kgで前年比84%で水揚げ量同様減少した。(表-3)

表-3 シモフリアイゴ月別水揚げ量 (勝連)

項 目	年	月						
		1 月	2	3	4	5	6	7
水 揚 げ 日 数	84	28	26	30	29	30	30	30
	85	28	25	31	30	28	28	27
のべ水揚げ 隻 数	84	127	92	166	107	128	111	187
	85	148	105	130	158	95	101	136
水 揚 げ 量	84	1,600.6	1,258.5	1,450.2	1,204.5	1,110.5	1,140.9	1,541.6
	85	1,355.6	749.2	1,199.7	1,584.5	862.6	927.3	457.0
1日1隻当り 水 揚 げ 量	84	12.6	13.7	8.	11.	8.7	10.3	8.2
	85	9.2	7.2	9.	10.	9.1	9.2	3.4

項 目	年	月					合 計
		8 月	9	10	11	12	
水 揚 げ 日 数	84	23	29	29	30	31	345
	85	25	27	26	29	30	334
のべ水揚げ 隻 数	84	81	164	168	241	225	1,797
	85	71	136	202	299	199	1,780
水 揚 げ 量	84	574.4	555.2	681.1	1,029.5	1,211.0	13,358.0
	85	216.1	346.2	559.1	1,396.9	1,349.2	11,003.4
1日1隻当り 水 揚 げ 量	84	7.	3.4	4.	4.3	5.4	7.4
	85	3.	2.5	2.	4.7	6.8	6.2